

# LPガスバルク供給設備点検表(A)

- ① 供給開始時点検調査 ② 6ヶ月点検 ③ 12ヶ月点検  
④ 24ヶ月点検 ⑤ 48ヶ月点検 ⑥ その他( )

点検年月日 平成 年 月 日 ( 曜日) 天候( ) 地上設備・埋設設備の別 地上 埋設

お客様	消費者氏名		容器(貯槽)製造販売元名	
	消費者コード番号		容器(貯槽)記号・番号	
	地図コード		容器(貯槽)製造年月日	
	消費者住所		容器(貯槽)安全弁製造年月日	
	消費者電話番号			
			立会者⑥	

設備名	設備内容	点検項目	点検基準	判定	措置
貯蔵設備	供給設備	貯蔵量	設備数量 kg・ kg× 本・ kg× 本・ 系統(空調・厨房等)	良・否	済・未
		容器	腐食防止、容器固定(転倒転落防止装置)、火気との距離、40℃以下、発生量	良・否	済・未
		貯槽	腐食防止:対地電位を電位電流測定器で測定し、飽和硫酸銅電極基準で-850mV以下であること。	良・否	済・未
		高圧・中圧供給管	腐食防止、腐食、割れ等、老化、漏れ	良・否	済・未
		製造(地上)	①自動車等車両が接触しない措置を講ずること(保護柵・緑石等) ②基礎は平坦なコンクリート盤等による水平かつ、地盤面5cm以上高いものとする。	良・否	済・未
備置	位置	(地下)	①自動車等車両の乗入防止措置を講ずること(保護柵・緑石等)②埋設の深さ(地盤面下30cm以上) ③貯槽の浮き上がり防止措置④埋め戻し措置⑤検知用孔あき管⑥標識杭⑦断熱措置(プロテクター5cm以上)	良・否	済・未
		保安物件までの距離	①第一種保安物件1t未満1.5m構造壁で距離緩和・1t以上3t未満16.97m又は障壁構造で距離緩和7m ②第二種保安物件1t未満1.0m構造壁で距離緩和・1t以上3t未満11.31m又は障壁構造で距離緩和7m	良・否	済・未
		火気制限距離	①貯蔵量1,000kg未満 2m以上 ②貯蔵量1,000kg以上3,000kg未満 5m以上又は、流動防止措置	良・否	済・未
供給設備	安全装置	流量検知式切り替型漏洩検知装置	型式 能力 kg/h 製造 年 月 有効 年 月	良・否	済・未
		流量検知式圧力監視型漏洩検知装置	型式 能力 kg/h 製造 年 月 有効 年 月	良・否	済・未
		ガス漏れ警報遮断装置	型式 能力 kg/h 製造 年 月 有効 年 月	良・否	済・未
		ガス放出防止器	型式 能力 kg/h 製造 年 月 有効 年 月	良・否	済・未
		感震器連動遮断装置	型式 …… 製造 年 月 有効 年 月	良・否	済・未
供給設備	配管検査	配管(供給管含む)	①検査機関 2.5L以下5分 ②2.5L超え10分 ③実施時間 時 分 ~ 時 分 分間	良・否	済・未
		漏洩検査	(1)検査方法 使用圧力~5.5kpa (2)メーター確認漏洩検知装置 (3)実施圧力・初圧 kpa・終圧 kpa	良・否	済・未
		調整器外観、能力等	老朽化・ 能力・ kg/h・製造 年 月・有効 年 月	良・否	済・未
		供給管、配管(露出部、埋設部)	①使用材料( ) ②防食対策(防錆テープ、絶縁、絶縁継手、被覆管・PE管) ③地盤沈下損傷防止対策 ④凍上対策 ⑤雪害対策 ⑥塩害対策 ⑦埋設管の深さ(30cm以上常時車両通過60cm以下) ⑧漏洩箇所の有無 ⑨施行後の表示	良・否	済・未
		調整器	調整圧力 一般用(2.3kpa~3.3kpa) 特殊燃焼器用 kpa 燃焼器入口圧力 一般用(2.3kpa~3.3kpa) 特殊燃焼器用 kpa 閉塞圧力 一般用(3.5kpa以下1分間以上静止) 特殊燃焼器用 kpa	良・否	済・未
供給設備	各種設備	メーター 種類	① S ② H ③ SB ④ B ⑤ C ⑥ L ⑦ II ⑧ ( ) ⑨ ドレン (1)メーター名( ) (2)型式 (3)番号 (4)容量 (5)入口 左右 (6)感震遮断装置 (7)検定満期 年 月	良・否	済・未
		気化装置	①電気式(停電対策ペーパー供給) ②空温式 ③温水、蒸気式(凍結防止等) ④アース ⑤電気設備 有無 ⑥容量 kg/h ⑦メーター名( ) ⑧その他	良・否	済・未
		さく・へい等	① 有無 ② 良否 ③ 済未 ④	良・否	済・未
		消火器	①A4、B10以上1トン未満1本 ②1トン以上2トン未満2本 ③2トン以上3トン未満3本以上 (1トンに付1本以上)	良・否	済・未
		警戒票	①LPガス貯蔵設備 ②火気厳禁 ③燃 ④無断立入禁止 ⑤緊急時の連絡 ⑥ 有無(その他)	良・否	済・未
供給設備	埋設管	ドレン	① 有無 ② 良否 ③ 済未 ④	良・否	済・未
		地崩れ・山崩れ・地盤の不同沈下	① 有無 ② 良否 ③ 済未 ④危機標識	良・否	済・未
		露出部	①地盤又はコンクリート面等の導電性対策(絶縁・防錆テープ・絶縁継手)②構内等で水影響に対する防食措置	良・否	済・未
		埋設部	①地盤面コンクリート面から立上り等の露出管(15cm以上)の防食措置 ②腐食防止の電気絶縁試行 ③電気防食(Mg(マグネシウム)陽極) ④施行者の表示( )	良・否	済・未
		壁、床等の貫通配管	①電気絶縁継手	良・否	済・未
		特定地下街(一般地下室含む)	①有無 集中監視型ガス漏れ警報器(貯蔵能力300kg以上)	良・否	済・未
		消費設備	別紙「LPガス設備・調査票」にて行なう。 ※1kpa⇒水柱100mm相当		

判定	① 良	お客様のLPガス設備は良好です。 上記の改善をお願い致します。 上記「否」の項目について 取替・取付・修理が必要です。  ※ 速やかに処理しないと次のことが 予想されます。 ①ガス漏れ(火災・爆発) ②不完全燃焼(CO中毒) ③その他( )	前回調査	年 月 日	調査区分	実施・留守・休止・拒否	
	② 否		今回調査	年 月 日	訪問日	初回	年 月 日
						2回目	年 月 日
						3回目	年 月 日
						拒否年月日	年 月 日
通知事項			設備設置	年 月 日			
			供給形態	①個別 ②集合 ③飲食店3号メーター以上 ④飲食店3号メーター未満 ⑤その他			
			保安連絡担当者	有無・埋設管 有(供給・消費) 無			

委託保安機関	名称	実施者	販売事業者
	住所		
	電話	⑥	住所
	実施者		電話
			実施者

# LPガス設備検査調査表 (B)

供給開始時 6ヶ月調査 12ヶ月調査  
24ヶ月調査 48ヶ月調査 その他( )

調査年月日 平成 年 月 日 ( 曜日) 天候( ) 地上設備・埋設設備の区別 地上 埋設

お客様	消費者氏名		立会者	容器(貯槽)製造販売元名	
	消費者コード番号			容器(貯槽)記号・番号	
	地図コード			容器(貯槽)製造年月日	
	消費者住所			容器(貯槽)安全弁製造年月日	
	消費者電話番号				

設備名	設備内容	点検項目	調査基準	判定	措置
消費設備	供給管等	容器設置容量	合計 kg kg×本 kg×本 系統 厨房 空調 ( )	良・否	済・未
		設置場所	火気2m以上・40以下・容器固定(転倒転落防止)・防湿・バルブ(容器3t以上10t未満・貯層1t以上3t未満火気施設より5m以上)	良・否	済・未
		高圧・中圧部漏洩検査	検知液、ガス検知器	良・否	済・未
		連結管・高圧ホース	腐食・割れ・漏れ・老朽化 製造年 月・有効年 月	良・否	済・未
		ガス放出防止器	腐食・割れ・漏れ・老朽化 製造年 月・有効年 月	良・否	済・未
		地震時対策	対震自動ガス遮断装置・ガス放出防止器	良・否	済・未
		供給管・ガス栓	腐食	良・否	済・未

消費設備	調整器	調整器 1	老朽化・能力 kg/h・製造年 月・有効年 月	良・否	済・未
		調整圧力	1 一般用(2.3kpa~3.3kpa) ・特殊燃焼器 kpa	良・否	済・未
		燃焼器入口圧力	" 一般用(2.0kpa~3.3kpa) ・特殊燃焼器 kpa	良・否	済・未
		閉塞圧力	" 一般用(3.5kpa以下1分以上静止) ・特殊燃焼器 kpa	良・否	済・未
		調整器 2	老朽化・能力 kg/h・製造年 月・有効年 月	良・否	済・未
		調整圧力	2 一般用(2.3kpa~3.3kpa) ・特殊燃焼器 kpa	良・否	済・未
		燃焼器入口圧力	" 一般用(2.0kpa~3.3kpa) ・特殊燃焼器 kpa	良・否	済・未
消費設備	供給管	配管(供給管含む)	検査時間 2.5L以下5分 2.5L超え10分 実施時間 初圧 kpa	良・否	済・未
		漏洩検査	検査方法 (1)使用圧力~5.5kpa (2)メーター確認 有無 分 終圧 kpa		

消費設備	消費機器	器具名	メーカー・型式	経年	消費量	立消安全装置	不完全燃焼防止	漏れ	燃焼状況	規格適合	判定	措置
消費設備	消費機器	ガステーブル				有・無	有・無	良・否	良・否	良・否	良・否	済・未
		瞬間湯沸器				有・無	有・無	良・否	良・否	良・否	良・否	済・未
		風呂釜				有・無	有・無	良・否	良・否	良・否	良・否	済・未
		給湯器				有・無	有・無	良・否	良・否	良・否	良・否	済・未
		エコウィル									( )	( )
		燃料電池									( )	( )
		GHP									( )	( )
		その他					有・無	有・無	良・否	良・否	良・否	良・否
		合計消費量				kg/h/KW	KW = Kg/h × 14倍換算				良・否	済・未

消費設備	給湯・風呂釜	調査項目	調査基準	判定	措置	
消費設備	給湯	配管・ガス栓	腐食・割れ・配管不良(固定方法・材質)	良・否	済・未	
		埋設配管(有無)	材質( )・漏洩試験( )・腐食測定( )	良・否	済・未	
	排気	給排気	屋外型燃焼器	設置条件(屋内・屋外)・逆風止・口径・設置状況・トップの位置(防鳥対策がとられていること)	良・否	済・未
		給排気	12Kw以下	換気扇・設置場所(有効な給排気)・排気筒・排気フード	良・否	済・未
		給排気	密閉式燃焼器	給排気部(材料・口径・先端部の位置・構造・固定)壁貫通部の隙間、腐食状況	良・否	済・未
		給排気	半密閉式燃焼器(強制排気方式)	排気筒(材料・口径・先端部の位置・構造・固定)壁貫通部の隙間	良・否	済・未
	風呂釜	接続方法	(燃焼器種類)	(末端ガス栓) 接続管	良・否	済・未
		接続方法	固定式燃焼器	ネジ付ガス栓 金属管・金属フレキ・継手金具付ホース・その他( )	良・否	済・未
		接続方法	移動式燃焼器	ネジ付ガス栓 金属管・金属フレキ・継手金具付ホース・その他( )	良・否	済・未
		接続方法	安全機構付ガス栓	両端迅速継手(低圧ホース、ゴム管、塩ビホース)	良・否	済・未
		接続方法	その他	両端ゴム継手付塩ビホース・ゴム管、(ホースバンド)	良・否	済・未
	その他	予備ガス栓	予備ガス栓	ネジ付ガス栓・安全機構付ガス栓・その他( )	良・否	済・未
		末端ガス栓・接続管	末端ガス栓・接続管	腐食・膨潤・ひび割れ・損傷・磨耗・キズ・長すぎ・未設置	良・否	済・未
		接続部・キャップ	接続部・キャップ	ガス漏れ・火災又は幅射熱・その他( )	良・否	済・未
		一酸化炭素測定器	器具名 1 2 3	測定値 1 %・2 %・3 %	良・否	済・未
その他	ガス漏れ警報器	有無・メーカー名	製造年 月・有効年 月・連動 有無	良・否	済・未	
	警報器連動遮断弁			良・否	済・未	
	警報器連動ヒューズ			良・否	済・未	

判定事項・通知事	点検・調査の結果	良 お客様のLPガス設備は良好です。否 上記の改善をお願い致します。	前回調査	年 月 日	調査区分	実施・留守・休止・拒否
	上記「否」の項目について取替、取付、修理が必要です。速やかに処理しないと次のことが予想されます。	ガス漏れ(火災・爆発) 不完全燃焼(CO中毒) ( )	今回調査	年 月 日	訪問日	初回 月 日 2回目 月 日
			設備設置	年 月 日	3回目	月 日 拒否 月 日
			供給形態	個別・集合・飲食店3号メーター以上・3号メーター未満・その他		
			保安連絡担当者	有・無 埋設管 有(供給・消費)・無		

保安機関名称住所電話番号実施者	実施者	販売事業者名称住所電話番号実施者	コード番号

# バルク供給設備等点検表 (C)

(バルク容器 1,000 kg 未満)

供給開始時 6ヶ月点検(充填作業時) 12ヶ月点検  
 24ヶ月点検 48ヶ月点検 再調査

点検年月日・平成 年 月 日 ( 曜日)・天候( ) 地上 地下

消費者名		安全弁製造年月日	
消費者コード番号		供給形態	kg 基
消費者住所			kg 基
容器(貯層)製造販売元名			kg 基
容器(貯層)記号・番号		販売事業者名	
容器(貯層)製造年月日		委託保安機関名	
		点検者氏名	

点検項目	点検方法	判定基準	判定結果	措置
1 火気までの距離(供給開始時・充填作業時)	目視	火気2m・遮る措置	良・否	済・未
2 設置場所(供給開始時・充填作業時)	目視	屋外におくこと、通風良好のこと	良・否	済・未
3 温度上昇防止措置(供給開始時・充填作業時)	目視	温度40度以下に保つこと。	良・否	済・未
4 バルク容器の腐食防止措置 「供給開始時・充填作業時」	目視	湿気、水滴等のない通風良好な場所に設置し、錆がないこと。	良・否	済・未
5 バルク容器のガスの漏洩 「供給開始時・充填作業時」	発泡剤	弁取付け部カップリング接続部等から漏れのないこと。	良・否	済・未
6 調整器の欠陥及びLPガスの適合性 「供給開始時・充填作業時」	目視	腐食、割れ、ネジの緩みがなく使用するLPガスに適合のこと。	良・否	済・未
7 バルブ、集合装置、供給管、ガス栓の欠陥 (容器から調整器まで)「供給開始時・充填作業時」	目視	腐食、割れ等の欠陥がないこと。	良・否	済・未
8 地下室等に係わる供給管の漏洩試験 「供給開始時・12ヶ月点検」	自記圧力計 発泡剤	漏洩試験に合格すること。	良・否	済・未
9 地下室等に係わる供給管の緊急遮断措置 「供給開始時・12ヶ月点検」	目視	300kg未満バルブ停止 300kg以上常時監視ができ 緊急遮断、供給停止できること。	良・否	済・未
10 液取入バルブ及びカップリング用液流出防止装置 「供給開始時・24ヶ月点検」	目視	液流出防止措置を取付けた液取入れ弁を設けること。	良・否	済・未
11 均圧バルブ及びカップリング 「供給開始時・24ヶ月点検」	目視	均圧弁は先端にカップリングを取付けたもの	良・否	済・未
12 安全弁の放出管 「供給開始時点検・24ヶ月点検」	目視	高さ5m以上、放出管表面に結露、水滴のないこと。	良・否	済・未
13 液面計 「供給開始時・24ヶ月点検」	目視	傷、変形がなく、液面計内部に結露のないこと、-20 ~ +80 の目盛り	良・否	済・未
14 プロテクター 「供給開始時・24ヶ月点検」	目視	ふた付プロテクターで保護する	良・否	済・未
15 LPガス、火気厳禁の朱書 「供給開始時・48ヶ月点検」	目視	LPガス、火気厳禁を容器のみ見やすい箇所に朱書する。	良・否	済・未
16 緊急連絡先の表示 「供給開始時・48ヶ月点検」	目視	連絡先名、電話番号、住所、担当者名等表示する。	良・否	済・未
17 自動車等車両が接触しない措置 「供給開始時・48ヶ月点検」	目視	縁石、囲い、フェンス、堀等車両が接触しない構造とする。	良・否	済・未
18 バルブ、集合装置、供給管、ガス栓の欠陥 (容器からガスメーターまで)「供給開始時・48ヶ月点検」	目視	腐食、割れ等欠陥のないこと。	良・否	済・未
19 バルブ、集合装置、供給管の腐食防止措置 「供給開始時・48ヶ月点検」	目視	発錆のないこと。塗装、メッキ合成樹脂被覆等施してあること。	良・否	済・未
20 バルブ、供給装置、気化装置、供給管の漏洩試験 「供給開始時・48ヶ月点検」	自記圧力計 発泡剤	漏洩試験に合格するものであること。	良・否	済・未
21 燃焼器入口圧力 「供給開始時・48ヶ月点検」	自記圧力計	2.0kpa~3.3kpaのマノメーター範囲にあること。	良・否	済・未
22 危険標識 「供給開始時・48ヶ月点検」	目視	LPガスの供給管である旨及び連絡先、担当名を明瞭に記載	良・否	済・未
23 調整器の調整圧力及び閉塞圧力 「供給開始時・48ヶ月点検」	自記圧力計 マノメーター	調整圧力は2.3kpa~3.3kpa以下で閉塞圧力は3.5kpa以下であること。	良・否	済・未
特記事項				

規則第50条の特例として、認定後の第1回の点検、調査は前回の点検、調査から10年までの間に行なうことができる。  
 (この認定は保安機関の認定ではなく販売事業の認定です。間違わないようにしてください。)

# バルク供給設備等点検表 ( D )

(バルク容器 1,000 kg 以上 3,000 kg 未満)

供給開始時点検 6ヶ月点検(充填作業時点検) 12ヶ月点検  
 24ヶ月点検 48ヶ月点検

点検年月日・平成 年 月 日 ( 曜日 )・天候 ( ) 地上 地下

消費者名		安全弁製造年月日	
消費者コード番号		供給形態	kg 基
消費者住所			kg 基
容器の製造販売元名			kg 基
容器の記号・番号		販売事業者名	
容器の製造年月日		保安機関名	
		点検者名	

	点 検 項 目	点検方法	判 定 基 準	判定結果	措 置
1	火気を取り扱う施設までの距離 「供給開始時・6ヶ月点検」	目 視	火気取扱施設まで5.0m以上 容器と施設の間に流動防止措置	良・否	良・否
2	バルク容器の腐食防止措置 「供給開始時・6ヶ月点検」	目 視	防食措置がとられている他、塗料の剥離等による著しい 深い傷、凹み等重大な欠陥がないこと。	良・否	良・否
3	調整器の欠陥及びLPガスの適合性 「供給開始時・6ヶ月点検」	目 視	腐食、割れ、ネジの緩み等欠陥のないこと	良・否	良・否
4	バルブ、集合装置、供給管、ガス栓の欠陥 (容器から調整器まで)「供給開始時・6ヶ月点検」	目 視	腐食、割れ等欠陥のないこと。	良・否	良・否
5	バルク容器のガスの漏洩 「供給開始時・6ヶ月点検」	目 視	容器、貯槽の漏れがないこと。	良・否	良・否
6	地下室等に係わる供給管の漏洩試験 「供給開始時・12ヶ月点検」	目 視	バルブ、集合装置、気化装置、供給管は漏洩試験に 合格するものであること。	良・否	良・否
7	地下室等に係わる供給管の緊急遮断装置 「供給開始時・12ヶ月点検」	目 視	300kg未満一のバルブで停止 300kg以上常時監視ができ、 緊急遮断、供給停止が出来ること	良・否	良・否
8	消火設備 「供給開始時・12ヶ月点検」	目 視	2トン以下B-10以上2本 2トン超3本	良・否	良・否
9	液取入バルブ及びカップリング用液流出防止装置 「供給開始時・24ヶ月点検」	目 視	バルブ取付部、カップリング接続部、 バルブ、カップリングからガス漏れのないこと。	良・否	良・否
10	均圧バルブ及びカップリング 「供給開始時・24ヶ月点検」	目 視	バルブ取付部、カップリング接続部、 バルブ、カップリングからガス漏れのないこと。	良・否	良・否
11	安全弁の放出管「供給開始時・24ヶ月点検」	目 視	レインキャップが確実に取付けられていること。	良・否	良・否
12	液面計 「供給開始時・24ヶ月点検」	目 視	ガラスの破損、変形、使用上有害な傷、割れ、 その他の欠陥がないこと。	良・否	良・否
13	プロテクター 「供給開始時・24ヶ月点検」	目 視	使用上有害な割れ、その他有害な損傷がないこと。	良・否	良・否
14	保安物件との距離 「供給開始時・24ヶ月点検」	目 視	第一種保安物件は16.97m以上 第二種保安物件は11.31m以上 障壁設置の場合はこの限りでない。	良・否	良・否
15	屋根又は遮蔽板 「供給開始時・24ヶ月点検」	目 視	不燃性、難燃性、で軽量な材料を使用すること。	良・否	良・否
16	LPガス、火気厳禁の朱書 「供給開始時・48ヶ月点検」	目 視	LPガス、貯蔵施設、火気厳禁、燃 無断立入禁止等朱書で表示する。 (貯蔵設置容量を表示 消防署)	良・否	良・否
17	緊急連絡先の表示 「供給開始時・48ヶ月点検」	目 視	販売事業者名・保安機関名・担当者住所・電話番号等 を明瞭に表示する。	良・否	良・否
18	自動車等車両が接触しない措置 「供給開始時・48ヶ月点検」	目 視	車両が乗入れできない構造であること。	良・否	良・否
19	バルブ、集合装置、供給管、ガス栓の欠陥 (調整器からガスメーターまで)「供給開始時・48ヶ月点検」	目 視	発錆が著しくないこと。割れ、すじ・しわ等がないこと。	良・否	良・否
20	バルブ、集合装置、供給管の腐食防止措置 「供給開始時・48ヶ月点検」	目 視	発錆が著しくないこと。	良・否	良・否
21	バルブ、集合装置、気化装置、供給管の漏洩試験 「供給開始時・48ヶ月点検」	自記圧力計 発泡剤	漏洩試験に合格すること。	良・否	良・否
22	燃焼器入口圧力 「供給開始時・48ヶ月点検」	自記圧力計 マンメーター	2.0kpa以上3.3kpa以下であること。 (記録は別紙)	良・否	良・否
23	危険標識 「供給開始時・48ヶ月点検」	目 視	供給管の位置、緊急連絡先、担当者等明瞭に記載、 表示されていること。	良・否	良・否
24	調整器の調整圧力及び閉塞圧力 「供給開始時・48ヶ月点検」	自記圧力計 マンメーター	2.3kpa以上3.3kpa以下 3.5kpa以下(記録は別紙)	良・否	良・否
特記事項					

規則第50条の特例として、認定後の第1回の点検、調査は前回の点検、調査から10年までの間に行なうことができる。  
 (この認定は保安機関の認定ではなく販売事業の認定です。間違わないようにしてください。)

# バルク供給設備等点検表 ( E )

(バルク貯槽1,000kg未満)

○ 供給開始時点検 ○ 6ヶ月点検(充填作業時点検)  
○ 12ヶ月点検 ○ 24ヶ月点検 ○ 48ヶ月点検

点検年月日・平成 年 月 日 ( 曜日 ) ・天候 ( ) 地上 地下

消費者名		安全弁製造年月日	
消費者コード番号		供給形態	kg 基
消費者住所			kg 基
貯槽・製造販売元名			kg 基
貯槽の記号・番号		販売事業所名	
貯槽製造年月日		委託保安機関名	
		点検者名	

	点 検 項 目	点 検 方 法	判 定 基 準	判 定 結 果	
1	火気までの距離「供給開始時・6ヶ月点検」	目 視	2m以内に火気のないこと。	良・否	済・未
2	設置場所「供給開始時・6ヶ月点検」	目 視	屋外におくこと。	良・否	済・未
3	バルク貯槽のガスの漏洩 「供給開始時・6ヶ月点検」	ガス漏れ検知器 発 砲 剤	漏れがないこと。	良・否	良・否
4	バルブ、集合装置、供給管、ガス栓の欠陥 「供給開始時・6ヶ月点検」	目 視	腐食、割れ等欠陥がないこと。	良・否	済・未
5	調整器の欠陥及びLPガスの適合性 ★「供給開始時・6ヶ月点検」	目 視	腐食、割れ、ネジの緩み等がなく 使用するLPガスに適合のこと。	良・否	済・未
6	地下室等に係わる供給管の漏洩試験 「供給開始時・12ヶ月点検」	自気圧力計 発 砲 剤	漏洩試験に合格すること。	良・否	済・未
7	地下室等に係わる供給管の緊急遮断措置 ★「供給開始時・12ヶ月点検」	目 視	300kg未満一のバルブで供給停止 300kg以上常時監視ができ 緊急遮断、供給停止できること。	良・否	済・未
8	安全弁 「供給開始時点検・24ヶ月点検」	目 視	内部の圧力が許容圧力を超えた場合に 直ちにその圧力を許容圧力以下に 戻すことができる安全弁を設ける。	良・否	済・未
9	安全弁の放出管 「供給開始時・24ヶ月点検」	目 視	レインキャップが確実に 取付けられていること。	良・否	済・未
10	液取入弁及びカップリング用液流出防止措置 「供給開始時・24ヶ月点検」	目 視	液流出防止措置を取付けた液取入弁を 設けること。	良・否	済・未
11	均圧弁及びカップリング 「供給開始時・24ヶ月点検」	目 視	均圧弁は先端にカップリングを 取付けたもの。	良・否	済・未
12	液面計 「供給開始時・24ヶ月点検」	目 視	傷、変形、破損がなく液面計内部に結露が なく-20℃～+80℃の目盛りがあること。	良・否	済・未
13	プロテクター「供給開始時・24ヶ月点検」	目 視	使用上有害な割れ、損傷のないこと。	良・否	済・未
14	バルク貯槽の腐食防止措置 「供給開始時・24ヶ月点検」	① 目 視 ② 電位電流 測 定 器	発錆が著しくないこと。 飽和硫酸銅電極でバルク貯槽対地電位を 測定し-850mv以下であること。	良・否	済・未
15	地上設置バルク貯槽の大地との接地 「供給開始時・24ヶ月点検」	目 視	取付けが正常であること。	良・否	済・未
16	保安物件との距離 「供給開始時・48ヶ月点検」	目 視	第一種保安物件1.5m又は構造壁 第二種保安物件1.0m又は構造壁	良・否	済・未
17	LPガス、火気厳禁の朱書 「供給開始時・48ヶ月点検」	目 視	貯槽周囲の見やすい場所にLPガス 火気厳禁を朱書する。	良・否	済・未
18	緊急連絡先の表示 「供給開始時・48ヶ月点検」	目 視	貯槽周囲見やすい場所に①販売事業者名 ②保安機関名③電話番号④担当者名 ⑤住所等緊急連絡先を表示する。	良・否	済・未
19	自動車等車両が接触しない措置 「供給開始時・48ヶ月点検」	目 視	自動車等車両が乗入れることのないように 措置する。(柵、囲い、縁石等)	良・否	済・未
20	埋設した場所に自動車等車両が乗入れない措置 「供給開始時・48ヶ月点検」	目 視	自動車等車両が乗入れることのないように 措置する。(柵、囲い、縁石等)	良・否	済・未
21	標識杭(地下埋設のバルクの貯槽) 「供給開始時・48ヶ月点検」	目 視	水平投影面の四隅に、埋設後の貯槽の 位置を示すための標識杭を設置する。	良・否	済・未
22	バルブ、集合装置、供給管の腐食防止措置 「供給開始時・48ヶ月点検」	①目視 ②電位電流測定器	防食塗装を施す。 腐食測定器により検査する。	良・否	済・未
23	バルブ、集合装置、供給管、ガス栓の欠陥 (調整器とガスメーターの間まで)「供給開始時・48ヶ月点検」	目 視	腐食、割れ、欠陥のないもの。	良・否	済・未
24	バルブ、集合装置、気化装置、供給管の漏洩試験 「供給開始時・48ヶ月点検」	①自記圧力計 ②マノメーター	漏洩試験に合格すること。	良・否	済・未
25	燃焼器入口圧力 「供給開始時・48ヶ月点検」	①自記圧力計 ②マノメーター	①2.0kpa以上3.3kpa以下 ②・①以外は燃焼器に適合した圧力	良・否	済・未
26	調整器の調整圧力及び閉塞圧力 「供給開始時・48ヶ月点検」	①自記圧力計 ②マノメーター	①2.3kpa以上3.3kpa以下 ②3.5kpa以下(記録は別紙)	良・否	済・未
27	危険標識 「供給開始時・48ヶ月点検」	目 視	供給管の位置・緊急連絡先・担当者等 明瞭に記載、表示されていること。	良・否	済・未
特記事項					

★ 規則第50条の特例として、認定後の第1回の点検、調査は前回の点検、調査から10年までの間に行なうことができる。  
(この認定は保安機関の認定ではなく販売事業の認定です。間違わないようにしてください。)

# バルク貯槽供給設備等点検表 ( F )

( 1,000 kg 以上 3,000 kg 未満 )

供給開始時点検 6ヶ月点検(充填作業時点検)  
12ヶ月点検 24ヶ月点検 48ヶ月点検

点検年月日・平成 年 月 日 ( 曜日 )・天候 ( ) 地上 地下

消費者名		安全弁製造年月日	
消費者コード番号		供給形態	kg 基
消費者住所			kg 基
貯槽製造販売元名			kg 基
貯槽の記号・番号		販売事業者名	
貯槽製造年月日		委託保安機関名	
		点検者氏名	

	点 検 項 目	点検方法	判 定 基 準	判定結果	措 置
1	火気を取り扱う施設までの距離(3,000kg未満) 「供給開始時・6ヶ月点検」	目 視	火気制限距離5.0m以上	良・否	済・未
2	バルク貯槽のガスの漏洩 「供給開始時・6ヶ月点検」	自記圧力計 発 泡 剤	ガスの漏洩がないこと。	良・否	済・未
3	バルブ、集合装置、供給管、ガス栓の欠陥 「供給開始時・6ヶ月点検」	目 視	腐食、割れ等欠陥のないこと	良・否	済・未
4	調整器の欠陥及びLPガスの適合性 「供給開始時・6ヶ月点検」	目 視	腐食、割れ、ネジの緩み等欠陥のないこと。	良・否	済・未
5	地下室等に係わる供給管の漏洩試験 「供給開始時・12ヶ月点検」	目 視	ガス漏れがないこと。	良・否	済・未
6	地下室等に係わる供給管の緊急遮断装置等 「供給開始時・12ヶ月点検」	目 視	300kg未満(-)のバルブにて供給停止 300kg以上常時監視できる場所にて貯蔵設備ごとに 供給停止できる緊急遮断措置を設けること。	良・否	済・未
7	消火設備 「供給開始時・24ヶ月点検」	目 視	2トン以下 A - 4・B - 10以上2本 2トン超能力 A - 4・B - 10以上3本	良・否	済・未
8	安全弁 「供給開始時・24ヶ月点検」	目 視	内部の圧力が許容圧力を超えた場合に直ちに許容圧力 以下に戻すことができる安全弁を設けること。	良・否	済・未
9	安全弁の放出管 「供給開始時・24ヶ月点検」	目 視	レインキャップがされていること。 地上5.0m以上の高さであること。	良・否	済・未
10	液取入弁及びカップリング用液流出防止措置 「供給開始時・24ヶ月点検」	目 視	液流出防止装置を取付けた液取入弁を 設けること。	良・否	済・未
11	均圧弁及びカップリング 「供給開始時・24ヶ月点検」	目 視	均圧弁は先端にカップリングを取付けたものとする。	良・否	済・未
12	液面計 「供給開始時・24ヶ月点検」	目 視	変形、破損等がなく - 20 ~ + 80 まで 測定できるものとする。	良・否	済・未
13	プロテクター 「供給開始時・24ヶ月点検」	目 視	各付属機器が保護されること。 保護カバーは蓋付であること。	良・否	済・未
14	バルク貯槽の腐食防止措置 「供給開始時・24ヶ月点検」	目 視	地上ケレン後下塗り、上塗りをする。 埋設下塗り後、アスファルト10mm以上塗布、 及び電食防止措置をする。	良・否	済・未
15	地上設置バルクの貯槽の大地との接地 「供給開始時・24ヶ月点検」	目 視	取付けが正常であること。	良・否	済・未
16	貯槽の基礎 「供給開始時・24ヶ月点検」	目 視	頂部が地盤面より30cm下にあること。2以上の貯槽を 設置する場合は1m以上間隔を保つこと。	良・否	済・未
17	静電気除去措置 「供給開始時・24ヶ月点検」	目 視	5.5mm以上の銅線(ケーブル)で 大地と電氣的にアースをとること。	良・否	済・未
18	保安物件との距離 「供給開始時・48ヶ月点検」	目 視	第一種保安物件16.97m以上 第二種保安物件11.31m以上 又は構造壁であること。	良・否	済・未
19	LPガス、火気厳禁の朱書 「供給開始時・48ヶ月点検」	目 視	LPガス、燃、火気厳禁を朱書 文字で表示する。	良・否	済・未
20	緊急連絡先の表示 「供給開始時・48ヶ月点検」	目 視	販売所の名称及び所在地、貯蔵施設等の 管理者の氏名及び住所	良・否	済・未
21	自動車等車両が接触しない措置 「供給開始時・48ヶ月点検」	目 視	囲い、縁石、ガードレール等で 車両が接触しない措置を講ずる。	良・否	済・未
22	埋設した場所に自動車等車両が乗入れない措置 「供給開始時・48ヶ月点検」	目 視	囲い、縁石、ガードレール等で 車両が乗入れない措置を講ずる。	良・否	済・未
23	標識杭(地下埋設のバルク貯槽) 「供給開始時・48ヶ月点検」	目 視	貯槽の水平投影面の四隅に、埋設後の貯槽の位置を 示すため標識杭を設置すること。	良・否	済・未

特記事項

規則第50条の特例として、認定後の第1回の点検、調査は前回の点検、調査から10年までの間に行なうことができる。  
(この認定は保安機関の認定ではなく販売事業の認定です。間違わないようにしてください。)

# 充填設備の日常点検表 ( G ) ( バルクローリー )

保安統括者	保安係員	充填作業員

移動開始前及び移動終了時の点検項目と点検内容

平成 年 月 日 ( 曜日 ) ( 天候 ) ・バルク車番 充填作業員名

	点 検 項 目	点 検 内 容	移 動 前 後	
			移 動 前	移 動 後
	1 車 両 関 係	運行前点検(運輸省告示参照)で異常のないこと。		
	2 警 戒 標	「高圧ガス」の表示が明瞭で汚損などがないこと。		
容 器	3 外 面	打痕、スリ傷、塗装の剥がれ、錆の発生などがないこと。		
	4 マンホール	ボルトの取付け状態が正常で、漏れがないこと。		
	5 表 示 関 係	「LPガス」「燃」「FP」など表示が明瞭で汚損がないこと。		
	6 付 属 品 操 作 箱	開閉が容易で変形損傷がなくロック装置に異常がないこと。		
弁 類	7 止 め 弁	閉止状態(圧力計元弁を除く)であり、ガス漏れなど異常がないこと。		
	8 緊 急 遮 断 装 置	操作機構に異常がなく、閉止状態であること。		
	9 安 全 弁	キャップの固定状況などに異常がないこと。		
計 器 類	10 圧 力 計	ガラスに損傷がなく、指示値が正常な値であること。		
	11 温 度 計	ガラスに損傷がなく、指示値が正常な値であること。		
	12 液 面 計	取付け状態が正常であり、変形や損傷がないこと。		
	13 流 量 計	損傷変形などがなく接続部に漏れがないこと。		
	14 配 管	変形、さび、漏れがなくボルトの緩みがないこと。		
充 填 ホ ー ス	15 充 填 ホ ー ス	磨耗状態、膨らみ、異常なねじれがないこと。		
	16 全 継 手	変形、損傷がないこと。		
	17 セーフティカップリング	変形、損傷がないこと。		
	18 ホ ー ス リ ー ル	変形、損傷がなく正常に固定されていること。		
安 全 装 置 関 連 機 器 類	19 ポンプなど	変形、損傷がなく正常に固定されていること。		
	20 ガス漏れ検知器	変形、損傷がなく、インターロック操作盤にて正常回路を確認		
	21 振動検知器	変形、損傷がなく正常に取り付けられていること。		
	22 いたずら防止装置	リミットスイッチの動作を手で確認すること。		
	23 誤発進防止装置	リミットスイッチの動作を確認すること。		
	24 警報表示関係	ランプ、ブザー等が正常であること。		
	25 遠隔操作関係	変形、損傷がないこと。		
	26 積込用カップリング	正規に取り付けられていること。Oリングの予備を所持すること。		
	27 接地導線(アースワイヤ)	クリップ等に錆がなく断線していないこと。		
	28 高さ検知棒	取付け状態を確認すること。		
	29 消 火 器	取付け状況、有効期限等に異常がないこと。(A4・B10以上2本)		
	30 携行資材など	必要な資材が積載されていること。( 赤旗 懐中電灯 メガホン ロープ(15m×2本以上) 漏洩検知剤 車輪止 革手袋)		
	31 必 要 書 類	イエローカード(注意書)のみ所持、資格証などを携行すること。		

移動前、移動後を点検して異常がなければ を、あれば×を記入する。

異常があった場合は使用を取り止め速やかに措置をする。措置終了後に使用を再開する。

御中

(H)

下記の通り充填致しました。

保安責任者	充填作業者

### 充 填 作 業 日 誌

充填事業者名  
営業所名

充填作業日時	平成 年 月 日 ( 曜日 )	時間	開始時間	時	分	天候								
消費者名	様		建物 / 1.戸建・2.共同住宅・3.店舗・4.事務所 5.工場・6.病院・7.学校・8.( )											
コード番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	バルクローリー車番	
住所														
バルク設置容量	( ) kg × ( )		基	他	地上	地下								
	( ) kg × ( )		基	他	地上	地下								
	( ) kg × ( )		基	他	地上	地下								
ガスメーター指数	m <sup>3</sup>		充填量記入欄又は用紙貼付欄											
ガス種														
販売事業者														
充填事業者														
バルクローリー車両番号														
距離積算計	km													
ローリータンク温度														
ローリータンク圧力	MPa													
バルクローリーの(貯槽)残量	%	%	%											
充填前の(貯槽)残量	%	%	%											
充填後の(貯槽)残量	%	%	%											

### 充填設備の点検(充填毎の点検) 対応する基準 規則72条1号(ロ～ヲ及びイ)

点検場所及び項目	判定基準	点検方法	点検結果	基準	
1 バルクローリーの残液量	液送ポンプ駆動時空運転を絶対しないこと。元弁の開を確認する。	目視	良・否		
2 充填設備からの保安距離	充填設備の外側からの第1種保安物件から1.5m以上、第2種保安物件から1m以上(但し、構造壁等による緩和あり)	目視 初回は計測	良・否	ロ ハ	
3 ガス漏れ	カップリング部、操作箱及びバルク貯槽(容器) 付属機器からのガス漏れがないこと。	発泡液	良・否	ニ	
4 充填ホースの車両通過	充填ホースの上に車両を通過させないこと。	実施確認	良・否	ホ	
5 充填作業中の警戒標識	「充填作業中」と「火気厳禁」の警戒標識を掲げること。	実施確認	良・否	ヘ	
6 駐車ブレーキ、非常灯点灯	充填作業中は駐車ブレーキをかけ、非常点滅表示灯を点灯する。	実施確認	良・否	ト	
7 車止め	充填作業中は、車止めを設け、車両を固定すること。	実施確認	良・否	チ	
8 過充填防止の監視	充填作業中は、液面計により常時監視し、過充填を防止する。	実施確認	良・否	リ	
9 充填作業終了措置	切離し時のブリーダー弁の開閉措置及びカップリング用液流動防止装置の漏洩有無確認をすること。	発泡液	良・否	ヌ	
10 液取入弁の常時開放	液取入弁(バルブ)は液封防止のため常時開にすること。	実施確認	良・否	ル	
11 バルク容器の設置基礎	バルク容器は適切な基礎に設置されていること。	目視	良・否	ヲ	
供給設備	貯槽基礎の状態	基礎との固定状況(著しい錆、緩み等)基礎の割れ等。	目視	良・否	
	貯槽周辺状況	貯槽のアース、車両等の衝突防止措置に異常がないか。	目視	良・否	
	容器・貯槽の腐食状況	発錆が著しくないこと。塗装が剥離していないこと。	目視	良・否	
	警戒標識等の表示	LPガス、燃、火気厳禁、緊急連絡先、貯蔵容量。	目視	良・否	
	火気距離	2m(1t以上3t未満5m)火気がないこと。	目視	良・否	
	消火設備	A-4・B10以上 容器は1本/1t・貯槽は1t以上は3本	目視	良・否	
	充填期限	バルク貯槽・容器は検査期限内か、付属品検査期限内か。	目視	良・否	
	容器の設置温度	容器は40 以下(貯槽は規定無し)連続照射時間6時間以内。	目視	良・否	
	安全弁の温度	「開」となっていること。	目視	良・否	
	安全弁レインキャップ	確実にとりつけられていること。	目視	良・否	
	バルブの開閉状態	開閉状態が正しく表示されていること。	目視	良・否	
	ガスの滞留状態	付近に滞留しやすい場所がないこと。	目視	良・否	
	ガス検知器の設置状況	ガス検知器が設置されていること。(ランプ点滅)	目視	良・否	
	漏洩検知メーター	警報表示の確認。	目視	良・否	
	気化装置	正常に動作していることを確認(ガス圧低下、水量不足等)。	目視	良・否	
	27 点検結果	不良ですから(取替・修理)をしてください。	点検結果報告	良・否	

### 初回充填時のみの点検

規則第72条1号

点検項目	判定基準	点検方法	点検結果	基準
1 容器、貯槽内の残留空気処理	不活性ガスによる置換又はその他の残留空気除去の措置(真空引き等)	実施確認	良・否	イ
2 容器、貯槽の気密試験	検査成績表で確認する。	実施確認	良・否	イ
3 容器、貯槽の液面計、過充填防止措置の作動試験	検査成績表で確認する。	実施確認	良・否	イ



